

## みかんに特化した大学サークル、 東大みかん愛好会の試み

みなさんは東大みかん愛好会をご存知だろうか。東大みかん愛好会は、4年前に立ち上がった大学サークル。現在、東大大学のほか関東圏の大学生を中心に約190人のメンバーで構成されている。はじめはツイッターで知り合ったみかん



総会には多くのメンバーが集まる

好きの大学生10数名がこたつでみかんを食べるという単純な活動でスタートしたが、国内のみかん消費量が毎年減っていることを知り、「みかん消費増加」を活動理念として掲げ本格的に活動を始めることとなる。現在この理念に基づき

- ① 話題を巻き起こす
  - ② 楽しみながら学ぶ
  - ③ 全ての産地を応援する
- の3つを指針とし活動を行っている。

### みかんイベントで話題を巻き起こす。

彼らの代表的な活動実績のひとつが「みかん大配布」。当初は学内イベントでみかんを普通に販売していたが、東大大学のキャンパス内でみかんを無料で大量配布するというイベントを行った。学生を中心とした若者の「みかん離れ」に着目し、消費量増大のためにはまず美味しいみかんを食べてもらい魅力を知ってもらうことが必要と考えたこのイベントは、駒場キャンパス1500個、本郷キャンパス500個を配布することに成功した。また、配布したみかんは日本園



えひめ移住  
コンシェルジュ  
**板垣 義男**

芸農業共同組合連合会の協力により無料調達することができた。このように組織や企業などとコラボレーションすることで東大みかん愛好会は活動の幅を広げていく。

団体とのコラボレーションのもうひとつの代表的な例が「みかんカフェ」である。愛媛県とグルメ雑誌「料理王国」の共催でミシュラン2つ星パティシエが手がける柑橘ジュエリーを提供し話題となった。そのほか「柑橘ジュースの飲み比べ」や、東大駒場キャンパス内にあるフレンチレストラン「ルヴェゾンヴェール駒場」による愛媛県食材を使った料理などイベントは大盛況となった。



大好評となったみかんカフェ